資料２

第３次北はりま定住自立圏共生ビジョンにおける具体的な取組内容について

資料の見方

事業内容					
分野	生活機能の強化				
政策	医療	施策	医療体制の確保		
事業概要	圏域におけるがん治療の拠点病院として、引き続き機能強化に努めるとともに、緩和ケア体制の充実を図ります。また、脳卒中治療の拠点病院として脳卒中センターの運営を行うとともに、認知症に係る医療水準の向上に向けた地域連携体制の強化を進めます。				
事業効果	脳血管疾患やがん治療に対応できる総合的・安定的な救急医療体制等を構築し、適切な医療を提供することができます。また、専門医による診療及び相談体制の強化により、圏域内の認知症疾患に係る診療サービスの向上とともに、住民の理解促進を図ることができます。				
事業	**1　医療機能強化事業**			掲載ページ	50ページ

第３次共生ビジョンに記載されている事業内容です。

担当			
西脇市	西脇病院　医事課	多可町	健康課

事業担当課を記載しています。

事業計画・取組状況							
R4年度	取組実績	【西脇市】市立西脇病院においては、ＭＲＩ(3.0テスラ)、高性能の血管造影装置等を活用し、安全・安心な医療サービスを提供した。 【多可町】町立診療所の機能維持及び多可赤十字病院への運営助成を行った。					
	進捗状況	B：おおむね想定どおり（８割以上）の成果が得られた					
	取組の評価	【西脇市】従来のＭＲＩ(3.0テスラ)、高性能の血管造影装置等を活用することはもちろんのこと、医療機器の更新により、安全・安心な医療サービスを提供することができた。 【多可町】多可赤十字病院への運営助成により、安全・安心な医療サービスを提供することができた。					
	事業費（千円）	西脇市	314,007	多可町	40,000	合計	354,007
		内訳	【西脇市】核医学診断装置、レントゲン撮影装置ほか 【多可町】町立診療所の機能維持及び多可赤十字病院への運営助成				
R5年度	取組計画	【西脇市】ＭＲＩ(3.0テスラ)、高性能の血管造影装置等を活用し、安全・安心な医療サービスを提供する。 【多可町】町立診療所の機能維持及び多可赤十字病院への運営助成を行う。					
	事業費（千円）	西脇市	1,316,118	多可町	59,200	合計	1,375,318
		内訳	【西脇市】総合医療情報システム更新、超音波診断装置ほか 【多可町】町立診療所の機能維持及び多可赤十字病院への運営助成				

この事業の令和４年度の取組状況、事業費（決算額）をまとめています。
「進捗状況」の評価は次の４段階です。

A：想定どおりの成果が得られた
B：おおむね想定どおり（８割以上）の成果が得られた
C：不十分であるが一部において成果が得られた
D：成果が得られていない

この事業の令和５年度の取組計画、事業費（予算額）をまとめています。

成果指標（KPI）①										
指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位	
西脇病院における北はりま消防組合からの要請に対する受入率	目標		—	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	%	
	実績	88.6	91.3	87.6	81.3					
	達成率			97%	90%					
	評価		—	B	B					
指標結果の分析・評価	R4年度	新型コロナウイルス感染症の影響もあったが、概ね達成できた。								

第３次共生ビジョンで定めている成果指標（KPI）を記載しています。KPIの評価は次の４段階です。
A：目標達成
B：90%以上達成
C：70%以上達成
D：70%未満

第３次北はりま定住自立圏共生ビジョン連携事業の進捗・達成状況について

		事業数	
		KPI①	KPI②
A	目標達成	16	4
B	90%以上達成	7	1
C	70%以上達成	5	0
D	70%未満	4	1
－	コロナの影響でやむを得ず事業中止等	4	2

No.	政 策	施 策	事 業	達成状況			
				KPI①		KPI②	
				R3	R4	R3	R4
＜生活機能の強化＞							
1	医療	医療体制の確保	医療機能強化事業	B	B		
2			医療従事者確保対策事業	B	B		
3			地域医療施設整備事業	A	A		
4			休日急患センター運営事業	D	D		
5		医療連携の強化	病診連携推進事業	A	A	A	A
6			病病連携推進事業	A	A		
7			へき地医療拠点病院事業	A	B	D	A
8		地域医療を守る体制の確立	地域医療を守る住民活動の支援	－	D		
9	福祉	認定審査会業務の連携	介護認定審査会事業	D	C		
10			障害認定審査会事業	A	A		
11		地域福祉体制の強化	高齢者等の見守り事業	A	A		
12			子育て支援事業	D	C	D	D
13	教育・文化	学校教育環境の充実	学校教育環境向上事業	－	－	－	－
14		文化・スポーツ活動の振興	スポーツイベント交流事業	－	－	－	－
15			文化交流事業	B	B		
16		文化財の保護及び利活用	文化財保存活用推進事業	－	－		
17	産業振興	農業の振興	地域ブランド普及開発推進事業	A	C		
18			農産物直売所運営事業	A	B		
19		商工業の振興	地域事業者成長支援事業	C	C		
20		鳥獣被害防止対策の推進	有害鳥獣有効活用事業	A	A		
21	その他	地域防災力の向上	消防・防災危機管理体制の整備検討	A	A		
22			水位監視対策事業	A	A		
23		ごみ処理業務の連携	ごみ処理事業	B	B		
24			新ごみ処理施設整備事業	D	D		
25		火葬及び葬儀業務の連携	広域斎場管理運営事業	B	B		
26		上下水道業務の連携	上下水道基盤強化事業	－	－		
＜結びつきやネットワークの強化＞							
27	地域公共交通	地域公共交通ネットワークの維持及び強化	地域公共交通ネットワーク事業	A	A		
28	道路等の交通インフラの整備	幹線道路の整備	国道427号整備促進事業	A	A		
29			自転車ネットワーク形成事業	A	A		
30	地域内外住民との交流・移住促進	地域資源の活用による交流・移住の促進	観光交流促進事業	B	A	B	B
31			移住・定住促進事業	A	A	A	A
32	その他	環境・エネルギー対策の推進	木質バイオマスエネルギー利用促進事業	A	A		
33			再生可能エネルギー導入推進事業	B	A	A	A
34		住民相談窓口の相互利用	消費生活・多重債務相談窓口の相互利用の推進	A	A		
35			住民相談窓口の広域利用の推進	D	C		
＜圏域マネジメント能力の強化＞							
36	人材の育成及び確保	人材の育成及び確保	職員人材育成・確保事業	C	D		

事業内容					
分野	生活機能の強化				
政策	医療		施策	医療体制の確保	
事業概要	圏域におけるがん治療の拠点病院として、引き続き機能強化に努めるとともに、緩和ケア体制の充実を図ります。また、脳卒中治療の拠点病院として脳卒中センターの運営を行うとともに、認知症に係る医療水準の向上に向けた地域連携体制の強化を進めます。				
事業効果	脳血管疾患やがん治療に対応できる総合的・安定的な救急医療体制等を構築し、適切な医療を提供することができます。また、専門医による診療及び相談体制の強化により、圏域内の認知症疾患に係る診療サービスの向上とともに、住民の理解促進を図ることができます。				
事業	**1　医療機能強化事業**			掲載ページ	50ページ

担当			
西脇市	西脇病院　医事課	多可町	健康課

事業計画・取組状況							
R4年度	取組実績	【西脇市】西脇病院においては、ＭＲＩ(3.0テスラ)、高性能の血管造影装置等を活用し、安全・安心な医療サービスを提供した。 【多可町】町立診療所の機能維持及び多可赤十字病院への運営助成を行った。					
	進捗状況	Ｂ：おおむね想定どおり（８割以上）の成果が得られた					
	取組の評価	【西脇市】従来のＭＲＩ(3.0テスラ)、高性能の血管造影装置等を活用することはもちろんのこと、医療機器の更新により、安全・安心な医療サービスを提供することができた。 【多可町】多可赤十字病院への運営助成により、安全・安心な医療サービスを提供することができた。					
	事業費（千円）	西脇市	314,007	多可町	40,000	合計	354,007
		内訳	【西脇市】核医学診断装置、レントゲン撮影装置の導入ほか 【多可町】町立診療所の機能維持及び多可赤十字病院への運営助成				
R5年度	取組計画	【西脇市】ＭＲＩ(3.0テスラ)、高性能の血管造影装置等を活用し、安全・安心な医療サービスを提供する。 【多可町】町立診療所の機能維持及び多可赤十字病院への運営助成を行う。					
	事業費（千円）	西脇市	1,316,118	多可町	59,200	合計	1,375,318
		内訳	【西脇市】総合医療情報システム更新、超音波診断装置ほか 【多可町】町立診療所の機能維持及び多可赤十字病院への運営助成				

成果指標（KPI）①

指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
西脇病院における北はりま消防組合からの要請に対する受入率	目標		—	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	%
	実績	88.6	91.3	87.6	81.3				
	達成率			97%	90%				
	評価		—	B	B				
指標結果の分析・評価	R4年度	新型コロナウイルス感染症の影響もあったが、概ね達成できた。							

事業内容					
分野	生活機能の強化				
政策	医療		施策	医療体制の確保	
事業概要	圏域の拠点病院である西脇病院の医療従事者を確保するため、勤務環境の改善を図るとともに、看護学校との連携や医師研修制度の整備・充実、情報発信の強化などを進めます。また、拠点病院の機能を補完する多可赤十字病院の医師の処遇を改善し、新たに赴任する医師に対する支援を行うために助成金を交付します。				
事業効果	医療従事者の充実と業務負担の軽減を図ることで、安全・安心な医療サービスが提供でき、病院運営の安定につなげることができます。				
事業	**2　医療従事者確保対策事業**			掲載ページ	51ページ

担当			
西脇市	西脇病院　病院総務課	多可町	健康課

事業計画・取組状況

R4年度	取組実績	【西脇市】保育施設の運用や医師事務作業補助者の配置などにより働きやすい環境を確保した。修学資金貸与制度や就職説明会への参加などにより、医療従事者の確保を図った。（園児数13名、修学資金貸与５名、うち新規採用２名（R4.4）、補助者：会計年度任用職員６名） 【多可町】適切な医療体制が確保できるよう特定診療科を支援するため医師派遣の費用助成を行った。					
	進捗状況	C：不十分であるが一部において成果が得られた					
	取組の評価	【西脇市】修学資金と医師事務作業補助者については、応募を行ったが、新型コロナウイルス感染症の影響もあってか十分な結果が得られなかった。 【多可町】新型コロナウイルス感染症の中、概ね達成することができた。					
	事業費（千円）	西脇市	47,642	多可町	10,000	合計	57,642
		内訳	【西脇市】院内保育所運営委託　22,829千円　修学金貸与（技術者養成費）3,000千円 医師事務作業補助　21,153千円　顧問弁護士　660千円 【多可町】地域医療確保対策補助　10,000千円				
R5年度	取組計画	【西脇市】保育施設の運用や医師事務作業補助者の配置などにより働きやすい環境を確保する。修学資金貸与制度や就職説明会への参加などにより、医療従事者の確保を図る。（園児数８名、修学資金貸与８名、うち新規採用４名（Ｒ５.4）、補助者：会計年度任用職員11名） 【多可町】適切な医療体制が確保できるよう特定診療科を支援するため医師派遣の費用助成を行う。					
	事業費（千円）	西脇市	52,394	多可町	7,000	合計	59,394
		内訳	【西脇市】院内保育所運営委託　23,734千円　修学金貸与（技術者養成費）6,000千円 医師事務作業補助　22,000千円　顧問弁護士　660千円 【多可町】地域医療確保対策補助　7,000千円				

成果指標（KPI）①

指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
西脇病院医師数	目標		—	55	55	55	55	55	人
	実績	51	51	51	51				
	達成率			93%	93%				
	評価		—	B	B				
指標結果の分析・評価	R4年度	前年度に引き続き、概ね達成することができた。							

事業内容			
分野	生活機能の強化		
政策	医療	施策	医療体制の確保
事業概要	圏域の医療を支え、身近な医療の提供体制を確保するため、多可町内で新たに診療所を開設する開業医に対し、診療所の開設に必要な費用を一部助成します。		
事業効果	圏域の拠点病院から距離的・時間的に離れている多可町内において、身近な医療が提供でき安全・安心な受診環境を確保することができます。		
事業	**3　地域医療施設整備事業**	掲載ページ	52ページ

担当			
西脇市	西脇病院　病院総務課	多可町	健康課

事業計画・取組状況							
R4年度	取組実績	【多可町】 診療所を開設する開業医の実績なし。八千代診療所が医師不在により閉鎖する可能性があったが、代診医の派遣により開院することができ、診療所数を維持できた。					
	進捗状況	D：成果が得られていない					
	取組の評価	【多可町】 診療所を開設する開業医の実績なし。多可町出身の医師等に、多可町での開業意向の意思確認を行うが成果には至らなかった。					
	事業費（千円）	西脇市	0	多可町	0	合計	0
		内訳					
R5年度	取組計画	【多可町】 診療所を開設する開業医の支援を継続していく。ただ、現時点においては、八千代診療所が代診医の派遣により開院している状態なので、診療所数の増加よりも現状維持を目指したい。					
	事業費（千円）	西脇市	0	多可町	0	合計	0
		内訳					

成果指標（KPI）①										
指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位	
多可町内診療所数	目標		—	9	9	10	10	10	箇所	
	実績	9	9	9	9					
	達成率			100%	100%					
	評価		—	A	A					
指標結果の分析・評価	R4年度	新たに開業する診療所はなかった。八千代診療所が医師不在により閉鎖する可能性があったが、代診医の派遣により診療所数を維持できた。								

事業内容					
分野	生活機能の強化				
政策	医療		施策	医療体制の確保	
事業概要	圏域の拠点病院である西脇病院の施設内において、休日急患診療事業を運営主体である西脇多可行政事務組合が西脇市多可郡医療協会を指定管理者に指定し、事業を実施します。				
事業効果	医療機能の分担により、休日の救急患者に対し、切れ目のない適切な医療を提供することができます。				
事業	**4　休日急患センター運営事業**			掲載ページ	53ページ

担当			
西脇市	西脇病院　病院総務課	多可町	健康課

事業計画・取組状況							
R4年度	取組実績	【西脇市・多可町】西脇市多可郡医師会の協力のもと、西脇病院内で軽症の救急患者を診察する休日急患センターを運営するため、西脇多可行政事務組合に負担金を拠出した。					
	進捗状況	A：想定どおりの成果が得られた					
	取組の評価	西脇市多可郡医師会の協力のもと、休日の救急患者に対して切れ目のない適切な医療を提供することができた。					
	事業費（千円）	西脇市	6,353	多可町	655	合計	7,008
		内訳	【西脇市】　負担金　1,763千円 【多可町】　負担金　655千円 【西脇病院】4,590千円				
R5年度	取組計画	【西脇市・多可町】西脇市多可郡医師会の協力の下、西脇病院内で軽症の救急患者を診察する休日急患センターを運営するため、西脇多可行政事務組合に負担金を拠出する。					
	事業費（千円）	西脇市	6,706	多可町	722	合計	7,428
		内訳	【西脇市】　負担金　2,026千円 【多可町】　負担金　722千円 【西脇病院】4,680千円				

成果指標（KPI）①

指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
休日急患センター受診患者数	目標		—	500	500	500	500	500	人
	実績	364	115	158	142				
	達成率			32%	28%				
	評価		—	D	D				
指標結果の分析・評価	R4年度	令和３年度と同様に、新型コロナウイルス感染症の影響により、発熱患者等の受診患者数が減少したものであると考えられる。							

事業内容					
分野	生活機能の強化				
政策	医療		施策	医療連携の強化	
事業概要	西脇病院が圏域の医療機関に施設などの病院機能を開放し、入院患者への共同指導や医療機器の共同利用を推進するとともに、医療に関する研修を実施します。				
事業効果	患者の相互紹介等により、西脇病院とかかりつけ医との役割分担や医療連携が一層推進され、効果的で切れ目のない医療サービスを提供することができ、圏域の医療提供体制の強化につなげることができます。				
事業	**5　病診連携推進事業**			掲載ページ	55ページ

担当			
西脇市	西脇病院　医事課	多可町	健康課

事業計画・取組状況							
R4年度	取組実績	【西脇市・多可町】病診連携のための啓発活動の実施 【西脇市】地域医療支援病院として、西脇病院・西脇市多可郡医師会が連携し、入院患者の共同指導、病院医療機器の共同利用を行うとともに、医療従事者への研修（医療検討会等）を実施した。また、病診連携のための啓発活動を行い、医療機関の役割に応じた紹介・逆紹介などの流れの浸透と定着化など、病診連携の推進・強化を図った。（紹介率72.2%、かつ、逆紹介率80.7%）					
	進捗状況	A：想定どおりの成果が得られた					
	取組の評価	内科ホットライン（医師会専用回線電話）の活用、平日19時までのFAX紹介時間延長などの取組により病診連携を推進することができた。					
	事業費（千円）	西脇市	0	多可町	0	合計	0
		内訳					
R5年度	取組計画	【西脇市・多可町】病診連携のための啓発活動の実施 【西脇市】地域医療支援病院として、西脇病院・西脇市多可郡医師会が連携し、入院患者の共同指導、病院医療機器の共同利用を行うとともに、医療従事者への研修（医療検討会等）を実施する。また、病診連携のための啓発活動を行い、医療機関の役割に応じた紹介・逆紹介などの流れの浸透と定着化など、病診連携の推進・強化を図る。（紹介率65.0%以上、かつ、逆紹介率65.0%以上）					
	事業費（千円）	西脇市	0	多可町	0	合計	0
		内訳					

成果指標（KPI）①										
指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位	
西脇病院における患者紹介率	目標		―	65.0	65.0	65.0	65.0	65.0	%	
	実績	65.3	69.5	66.4	72.2					
	達成率			102%	111%					
	評価		―	A	A					
指標結果の分析・評価	R4年度	医療機関の役割に応じた紹介などの流れが浸透している。								

成果指標（KPI）②										
指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位	
西脇病院における患者逆紹介率	目標		―	65.0	65.0	65.0	65.0	65.0	%	
	実績	70.5	74.4	72.2	80.7					
	達成率			111%	124%					
	評価		―	A	A					
指標結果の分析・評価	R4年度	医療機関の役割に応じた紹介などの流れが浸透している。								

事業内容					
分野	生活機能の強化				
政策	医療		施策	医療連携の強化	
事業概要	医療資源を効果的に活用し、圏域医療を持続的に確保するため、西脇病院と多可赤十字病院の間において、患者紹介など病院間の役割分担を図り、電子カルテによる医療情報の共有化や医師の相互派遣等を実施し、病院間の連携を強化します。				
事業効果	より専門的で効率的な医療提供が可能になるとともに、病院に不足する診療機能の相互補完を図ることができ、圏域の医療提供体制の強化につながります。				
事業	**6　病病連携推進事業**			掲載ページ	56ページ

担当			
西脇市	西脇病院　病院総務課	多可町	健康課

事業計画・取組状況							
R4年度	取組実績	【西脇市・多可町】【西脇市】西脇病院から多可赤十字病院に対して、皮膚科医師（週１回）、整形外科医師（週１回）、内科医師（週２回）及び乳腺外科（随時）の派遣を行った。 連携パス協議を実施し、地域連携クリニカルパス（脳卒中、大腿骨）を推進するとともに、地域医療連携システムの運用を進めた。					
	進捗状況	A：想定どおりの成果が得られた					
	取組の評価	新型コロナウイルス感染症対策をしっかり講じながら、応援医師の派遣を行うことができた。					
	事業費（千円）	西脇市	1,251	多可町	0	合計	1,251
		内訳	【西脇市】絆ネット運用費（専用回線利用料・プロバイダー料など）104,247円×12か月				
R5年度	取組計画	【西脇市・多可町】【西脇市】西脇病院から多可赤十字病院に対して、皮膚科医師（週１回）、整形外科医師（週１回）、内科医師（週２回）及び乳腺外科（随時）の派遣を行う。 連携パス協議を実施し、地域連携クリニカルパス（脳卒中、大腿骨）を推進するとともに、地域医療連携システムの運用を進める。					
	事業費（千円）	西脇市	1,251	多可町	0	合計	1,251
		内訳	【西脇市】絆ネット運用費（専用回線利用料・プロバイダー料など）104,247円×12か月				

成果指標（KPI）①										
指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位	
北はりま絆ネット同意書数	目標		—	870	890	910	930	950	件	
	実績	850	958	1,129	1,302					
	達成率			130%	146%					
	評価		—	A	A					
指標結果の分析・評価	R4年度	設定目標を１年ごとに20件増としていたが、令和４年度は173件と大幅に増えた。								

事業内容			
分野	生活機能の強化		
政策	医療	施策	医療連携の強化
事業概要	へき地医療拠点病院に指定されている西脇病院から、へき地診療所である多可町立診療所に代診医を派遣するなど必要な診療支援を行います。		
事業効果	多可町立診療所が休診することなく、患者の診療が可能となることで、安全・安心な受診環境の確保と圏域医療の安定につなげることができます。		
事業	**7　へき地医療拠点病院事業**	掲載ページ	57ページ

担当			
西脇市	西脇病院　病院総務課	多可町	健康課

事業計画・取組状況

R4年度	取組実績	【西脇市】西脇病院から多可町立診療所に対し、申請に基づいて臨時に代診医（内科）を派遣した。 【多可町】申請に基づいて臨時に代診医（内科）の派遣を受け入れた。					
	進捗状況	A：想定どおりの成果が得られた					
	取組の評価	安全・安心な受診環境の確保と圏域医療の安定につなげることができた。					
	事業費（千円）	西脇市	0	多可町	2,997	合計	2,997
		内訳	【多可町】　国保八千代診療所　2,849,000円　@37,000円×77回 （西脇病院62回、多可赤十字病院12回、大山記念病院3回） 杉原谷診療所　148,000円　@37,000円×4回				
R5年度	取組計画	【西脇市】西脇病院から多可町立診療所に対し、申請に基づいて臨時に代診医（内科）を派遣する。また、八千代診療所については、申請に基づき管理者を派遣する。 【多可町】申請に基づいて臨時に代診医（内科）を派遣してもらう。また八千代診療所については、申請に基づき管理者を派遣してもらう。					
	事業費（千円）	西脇市	0	多可町	8,945	合計	8,945
		内訳	【多可町】　国保直営診療所　8,575,000円 （代診医@37,000円×175回　管理者@15,000円×140回） 杉原谷診療所　370,000円　（代診医@37,000円×10回）				

成果指標（KPI）①

指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
多可町立診療所診療日数	目標		—	239	239	239	239	239	日
	実績	239	242	242	234				
	達成率			101%	98%				
	評価		—	A	B				
指標結果の分析・評価	R4年度	代診医の派遣により、診療所を休診する日を極力減らし、診療を続けることができた。							

成果指標（KPI）②

指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
多可町立診療所への医師派遣回数	目標		—	20	20	20	20	20	回
	実績	20	5	7	65				
	達成率			35%	325%				
	評価		—	D	A				
指標結果の分析・評価	R4年度	派遣依頼回数が大きく増加したが、代診医を派遣し、診療所を休診することなく診療を続けることができた。							

事業内容				
分野	生活機能の強化			
政策	医療	施策	地域医療を守る体制の確立	
事業概要	医療機関への適正受診に向けた啓発や勉強会の開催など、西脇小児医療を守る会や地域医療を支える市民の会が行う地域医療を守り支える住民意識の醸成に資する活動を支援するとともに、受診案内・援助などを行う病院ボランティアの受入れなどを進めます。また、病院フェスタの開催など地域に開かれた病院づくりを進めます。			
事業効果	地域医療を守り、支える意識が普及し、圏域住民の適正な受診行動を促進することができ、医療従事者の業務に対する理解促進や負担軽減につなげることができます。			
事業	**8　地域医療を守る住民活動の支援**		掲載ページ	59ページ

担当			
西脇市	西脇病院　病院総務課	多可町	健康課

事業計画・取組状況							
R4年度	取組実績	【西脇市】教育委員会や児童福祉部門と連携・協力して、西脇小児医療を守る会の活動を支援し、病院ボランティアの受入れを一部行った。 【多可町】地域医療確保対策協議会を開催する予定であったが開催できなかった。改めて「地域医療」を考えてもらう機会を作った。					
	進捗状況	C：不十分であるが一部において成果が得られた					
	取組の評価	【西脇市】新型コロナウイルス感染症対策のため、病院フェスタ、地域医療確保対策協議会は開催できなかったが、市民フォーラムは３年ぶりに実施できた。また、病院ボランティアの受入れを一部行った。 【多可町】地域医療確保対策協議会を開催する予定であったが開催できなかった。					
	事業費（千円）	西脇市	0	多可町	0	合計	0
		内訳					
R5年度	取組計画	【西脇市】教育委員会や児童福祉部門と連携・協力して、西脇小児医療を守る会の活動を支援し、病院ボランティアの積極的な受入れを行う。 【多可町】地域医療確保対策協議会を開催するための議題を決めるために、どのようなニーズがあるのか今後検討していく。					
	事業費（千円）	西脇市	0	多可町	0	合計	0
		内訳					

成果指標（KPI）①										
指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位	
病院フェスタ・市民フォーラム参加者数	目標		—	2,800	2,800	2,800	2,800	2,800	人	
	実績	2,600	—	—	162					
	達成率			—	6%					
	評価		—	—	D					
指標結果の分析・評価	R4年度	市民フォーラムは３年ぶりに開催することができたが、新型コロナウイルス感染症対策のため、病院フェスタは中止、地域医療確保対策協議会を開催できず、目標を大きく下回った。								

事業内容			
分野	生活機能の強化		
政策	福祉	施策	認定審査会業務の連携
事業概要	介護が必要な高齢者等が必要な介護サービスを受けることができるよう要介護等の認定を行う審査会業務を西脇多可行政事務組合で行います。		
事業効果	審査会業務の運営の効率化と審査判定結果の迅速化を図り、公正・適正な事務を確保することができます。		
事業	**9　介護認定審査会事業**	掲載ページ	61ページ

担当	
西脇市・多可町	西脇多可行政事務組合　認定審査課

事業計画・取組状況							
R4年度	取組実績	認定審査会を開催した。（年間144回、審査件数2,997件）					
	進捗状況	A：想定どおりの成果が得られた					
	取組の評価	年間144回審査会を開催し、公正な審査を引き続き行った。					
	事業費（千円）	西脇市		多可町		合計	33,668
		内訳	人件費　30,975千円 介護認定審査会運営　299千円		介護認定審査事務　2,394千円		
R5年度	取組計画	西脇市及び多可町による一次判定に基づき、審査会を開催し、二次判定を行う。					
	事業費（千円）	西脇市		多可町		合計	39,293
		内訳	人件費　36,169千円 介護認定審査会運営　478千円		介護認定審査事務　2,646千円		

成果指標（KPI）①

指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
介護認定審査会開催回数	目標		—	191	191	191	191	191	回
	実績	191	130	125	144				
	達成率			65%	75%				
	評価		—	D	C				
指標結果の分析・評価	R4年度	要介護認定及び要支援認定を受けている対象者の有効期間について、新型コロナウイルス感染症に係る要介護認定の臨時的な取扱いにより、従来の認定期間に新たに12か月までの範囲で認定期間を延長できる措置が令和3年度に引き続き取られた。そのため、基準年よりも開催回数は減少した。							

事業内容					
分野	生活機能の強化				
政策	福祉		施策	認定審査会業務の連携	
事業概要	障害者が障害特性に応じて必要な障害福祉サービスを受けることができるとともに、自立した生活ができるよう障害支援区分の認定を行う審査会業務を西脇多可行政事務組合で行います。				
事業効果	審査会業務の運営の効率化と審査判定結果の迅速化を図り、公正・適正な事務を確保することができます。				
事業	**10 障害認定審査会事業**			掲載ページ	62ページ

担当	
西脇市・多可町	西脇多可行政事務組合 認定審査課

事業計画・取組状況							
R4年度	取組実績	認定審査会を毎月1回計12回開催し、146件を審査した。					
	進捗状況	A：想定どおりの成果が得られた					
	取組の評価	毎月1回審査会を開催し、公正な審査を引き続き行った。					
	事業費（千円）	西脇市		多可町		合計	5,312
		内訳	人件費 4,308千円 障害認定審査会運営 24千円		障害認定審査事務 375千円 認定審査会支援システム改修 605千円		
R5年度	取組計画	西脇市及び多可町による一次判定に基づき、審査会を開催し、二次判定を行う。					
	事業費（千円）	西脇市		多可町		合計	5,095
		内訳	人件費 4,637千円 障害認定審査会運営 40千円		障害認定審査事務 418千円		

成果指標（KPI）①										
指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位	
障害認定審査会開催回数	目標		—	12	12	12	12	12	回	
	実績	12	12	12	12					
	達成率			100%	100%					
	評価		—	A	A					
指標結果の分析・評価	R4年度	西脇市及び多可町による一次判定に基づき、毎月1回審査会を開催し、二次判定を行った。								

事業内容					
分野	生活機能の強化				
政策	福祉		施策	地域福祉体制の強化	
事業概要	行政、関係機関、関係団体等によるネットワーク「あんしんはーとねっと事業」を構築し、高齢者や障害者、子どもなどの見守りを行うとともに、認知症等により行方不明となった高齢者の捜索への協力を行います。				
事業効果	高齢者等が安心して地域で生活できる社会の実現につながることが期待されます。				
事業	**11　高齢者等の見守り事業**			掲載ページ	64ページ

担当			
西脇市	長寿福祉課	多可町	ふくし相談支援課

事業計画・取組状況							
R4年度	取組実績	【西脇市】あんしんはーとねっと事業強化月間（11月）に、事業協力者対象に事業報告会及び研修会を開催した。横断幕（市内３か所）を掲示し地域での見守りについて啓発活動を行った。HPで事業協力者の募集を行った。 【多可町】11月に加美区にてあんしんはーとねっと事業見守り・声かけ訓練を実施し、区長、民生委員、協力委員や商工会の商店に協力いただき、12事業所が事業協力の登録をした。また、商工会青年部に認知症サポーター養成講座を実施し、地域での見守り活動の協力依頼し、13事業所が登録した。					
	進捗状況	A：想定どおりの成果が得られた					
	取組の評価	あんしんはーとねっと事業見守り・声かけ訓練や認知症サポーター養成講座等を通して、地域での見守りについて啓発し、地域の方々と一緒に検討することができた。					
	事業費（千円）	西脇市	84	多可町	81	合計	165
		内訳	【西脇市】研修会講師報償費50千円、郵便代34千円 【多可町】郵便代62千円、パンフレット等購入19千円				
R5年度	取組計画	【西脇市】事業協力者の募集及び高齢者等の見守りの啓発を行う。 【多可町】事業協力者の募集を行うとともに、権利擁護について事業協力者向けの研修会を実施する。					
	事業費（千円）	西脇市	68	多可町	214	合計	282
		内訳	【西脇市】研修会講師報償費50千円、郵便代18千円 【多可町】研修会講師報償費40千円、郵便代62千円、パンフレット等購入48千円、印刷製本費64千円				

成果指標（KPI）①										
指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位	
あんしんはーとねっと事業協力事業者数	目標		—	215	219	223	227	231	事業者	
	実績	205	232	233	258					
	達成率			108%	118%					
	評価		—	A	A					
指標結果の分析・評価	R4年度	目標は達成している。引き続き、新たな事業協力者の募集を行う。								

事業内容			
分野	生活機能の強化		
政策	福祉	施策	地域福祉体制の強化
事業概要	子育て支援情報の相互発信や事業の相互利用・共同実施、子育て支援団体等のネットワーク化などに取り組みます。 また、圏域内移動者で支援が必要な家庭に対し、相談員等による指導・見守りの実施や情報共有を図ります。		
事業効果	子育て支援施策が充実することで、圏域全体の子育て環境の向上につなげることができます。		
事業	**12　子育て支援事業**	掲載ページ	65ページ

担当			
西脇市	こども政策課／はぴいくサポートセンター	多可町	こども未来課

事業計画・取組状況

R4年度	取組実績	【西脇市・多可町】子育て力の向上を目的としたイベント（こどもプラザ夏まつり、こどもプラザフェスタ）を開催した。また、圏域内移動者で支援が必要な家庭に対し、相談員等による見守りや情報共有を図った。 【西脇市】多可町の児童館事業「とびだせ児童館」に参加した。保護者の研修会を開催し、講座の中で交流できた。各市町の開催するイベント等をチラシ・SNS等で発信し、参加を呼び掛けた。 【多可町】ReUse会（こども服、子育て用品の譲渡会）の開催について、西脇市内にもチラシの配布やSNS等で配信し、子育て家庭の参加につなげた。また、西脇市の関連イベントに「出張ReUse会」を出店し、交流を図った。					
	進捗状況	C：不十分であるが一部において成果が得られた					
	取組の評価	【西脇市・多可町】こどもプラザ夏まつり、こどもプラザフェスタ、子育て講演会を3回実施し参加者から好評を得ている。圏域内移動者で支援が必要な家庭に対し、ケース移管を行い、支援方針を策定するが、R４は支援対象家庭はなかった。 【西脇市】児童館事業「とび出せ児童館」では、多可町那珂ふれあい館を利用し、新しい学びができる満足度の高い事業となった。各市町のイベントや事業を周知することで、親子の居場所をつくることができた。 【多可町】出張Reuse会については、回を重ねるごとに周知も図られ、多くの子育て家庭の参加につながった。また、活動母体の「古着屋たかっ子」にとっても、西脇市において開催できることで、やりがいにつながっている。					
	事業費（千円）	西脇市	491	多可町	0	合計	491
		内訳	児童館事業（クッキング等講師報償費、クッキング、和紙の掛け時計、勾玉キーホルダー作り材料費、工作教室、おりがみ教室、ソーイング教室消耗品費等）				
R5年度	取組計画	【西脇市・多可町】子育て力の向上を図ることを目的として、市町の枠組みを超えてつながるイベントを引き続き開催する。未就学の親子を対象に季節を感じる遊びを通して交流を図る。発達の気になる家庭や障害を持つ子どもの保護者同士が、交流し、情報交換や研修できる機会を持つ。圏域内移動者で支援が必要な家庭に対し、相談員等による見守りや情報共有を図る。チラシ配布やSNSの発信等により、イベントや事業の周知を図り、両市町の対象者の参加につなげていく。					
	事業費（千円）	西脇市	475	多可町	0	合計	475
		内訳	児童館事業（クッキング等講師報償費、クッキング、社会見学、工作教室、おりがみ教室、ソーイング教室消耗品費等）				

指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
児童館利用者数	目標		—	72,800	72,800	74,000	74,000	74,200	人
	実績	86,956	21,596	33,720	57,552				
	達成率			46%	79%				
	評価		—	D	C				
指標結果の分析・評価	R4年度	新型コロナウイルス感染症の影響により、利用制限を実施したため利用人数の増加は望めなかった。多可町は、コロナ対応を継続中であるが、利用人数はコロナ流行前に戻りつつある。							

指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
市町間交流事業実施回数	目標		—	4	6	6	8	8	回
	実績	4	0	1	3				
	達成率			25%	50%				
	評価		—	D	D				
指標結果の分析・評価	R4年度	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、予定していたイベントを中止にしたり、参加人数に制限を加えたことによる。							

事業内容			
分野	生活機能の強化		
政策	教育・文化	施策	学校教育環境の充実
事業概要	新たな技術、グローバル教育などの新たな教育課題への対応や、少子化などの教育を取り巻く環境の変化に対応するため、教職員の人材育成・交流や部活動運営の共同実施、業務改善に向けた取組などを連絡会議で調査研究するとともに、必要な事業を共同で実施します。		
事業効果	教職員の資質向上・交流や課外活動等の運営改善などを通じて、学校教育の質の向上と、課外活動等の多様性・質の確保、効率性の向上が期待できます。		
事業	**13 学校教育環境向上事業**	掲載ページ	67ページ

担当			
西脇市	学校教育課 教育研究室	多可町	学校教育課

事業計画・取組状況							
R4年度	取組実績	【西脇市・多可町】 新型コロナウイルスの感染状況に鑑み、市町の枠組みを超えた多人数での研修を行うことができなかった。					
	進捗状況	D：成果が得られていない					
	取組の評価	新型コロナウイルス感染防止により両市町の多人数の教職員が参集して研修を行うことができなかった。					
	事業費（千円）	西脇市	0	多可町	0	合計	0
		内訳					
R5年度	取組計画	【西脇市・多可町】 新型コロナウイルス感染症が第５類になったことを受け、新型コロナウィルスの感染状況等を見極めながら、市町の枠組みを超えた合同研修の実施内容を検討する。					
	事業費（千円）	西脇市	100	多可町	90	合計	190
		内訳	【西脇市】教職員研修会100千円【多可町】教職員研修会90千円				

成果指標（KPI）①

指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
連絡会議開催回数	目標		—	1	1	1	1	1	回
	実績	1	—	—	—				
	達成率			—	—				
	評価		—	—	—				
指標結果の分析・評価	R4年度	新型コロナウイルス感染拡大防止のため集合研修を行うことができないと判断したため、連絡会を開催しなかった。							

成果指標（KPI）②

指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
共同研修参加者数	目標		—	50	55	60	65	70	人
	実績	50	—	—	—				
	達成率			—	—				
	評価		—	—	—				
指標結果の分析・評価	R4年度	新型コロナウイルス感染拡大防止のため集合研修を行うことができなかった。							

事業内容				
分野	生活機能の強化			
政策	教育・文化	施策	文化・スポーツ活動の振興	
事業概要	スポーツイベントの情報を圏域全体に発信するとともに、各市町で実施する既存事業においては圏域住民の積極的な参加を推進するため、連絡会議を設置し、事業の振興と交流の促進を図ります。また、西脇多可新人高校駅伝競走大会など圏域内において共同で実施する事業の支援や連携の調整・検討を行います。			
事業効果	スポーツ活動の機会が拡充することで、圏域全体のスポーツの振興や質的向上につながるとともに、住民の相互交流を促進することができます。			
事業	**14 スポーツイベント交流事業**		掲載ページ	69ページ

担当			
西脇市	生涯学習課	多可町	生涯学習課

事業計画・取組状況							
R4年度	取組実績	西脇多可高校新人駅伝競走大会については2月19日（日）実施予定で開催準備を進めたが、新型コロナウィルス感染症第7波の終息が見通せない状況が続き、選手やボランティアの安全面を最優先に考え9月末に中止を決定した。また、北播磨広域定住自立圏事業において、各市町のイベント情報等の交換、また共同事業の開催に向けて準備を進めた。６月ジュニアバレーボール教室40名（西脇市8名、多可町5名)、11月ウォーキング91名、3月グラウンドゴルフ大会96名（西脇市、多可町各24名）。					
	進捗状況	B：おおむね想定どおり（８割以上）の成果が得られた					
	取組の評価	新人駅伝競走大会は開催できなかったが、次期大会開催を前提として協賛企業の新規獲得活動の決定など準備を整えることができた。 なお、広域圏での交流事業では計画どおり３事業を行い、圏域の交流を図ることができた。					
	事業費（千円）	西脇市	0	多可町	0	合計	0
		内訳	西脇多可高校新人駅伝競走大会				
R5年度	取組計画	新人駅伝競走大会は、１月に次期大会の開催を決定しており、必要経費の高騰が懸念されるが、新規協賛企業の開拓を図り、前回大会並みの協賛金を確保に取り組む。 広域定住自立圏事業において、ウォーキングイベント、グラウンドゴルフ大会、中高生を中心とした卓球教室を計画し、圏域全体のスポーツの振興や住民の相互交流を促進する。					
	事業費（千円）	西脇市	2,000	多可町	1,000	合計	3,000
		内訳	西脇多可高校新人駅伝競走大会				

成果指標（KPI）①

指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
西脇多可新人高校駅伝競走大会参加チーム数	目標		—	140	140	145	145	150	チーム
	実績	135	—	—	—				
	達成率			—	—				
	評価		—	—	—				
指標結果の分析・評価	R4年度	新型コロナウィルス感染症第7波の終息が見通せない状況が続き、選手やボランティアの安全面を最優先に考え中止							

成果指標（KPI）②

指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
西脇多可新人高校駅伝競走大会関係者数（観客含む。）	目標		—	9,500	9,500	10,000	10,000	11,000	人
	実績	9,000	—	—	—				
	達成率			—	—				
	評価		—	—	—				
指標結果の分析・評価	R4年度	新型コロナウィルス感染症第7波の終息が見通せない状況が続き、選手やボランティアの安全面を最優先に考え中止							

事業内容			
分野	生活機能の強化		
政策	教育・文化	施策	文化・スポーツ活動の振興
事業概要	文化事業の情報を圏域全体に発信するとともに、文化団体の相互交流やイベント等の共同実施などにより、圏域住民が中心となった文化活動を促進します。また、新たに活動を始める団体の設立支援やセミナーの開催など、文化活動の担い手を育成します。		
事業効果	文化活動を通じた住民交流が促進されることで、圏域全体の文化活動の振興や質的向上につながります。		
事業	**15 文化交流事業**	掲載ページ	70ページ

担当			
西脇市	生涯学習課	多可町	生涯学習課

事業計画・取組状況							
R4年度	取組実績	【西脇市・多可町】両市町に関連する事業について連携を密にし、広報を幅広く行うことにより、集客の向上に努めた。 【西脇市】令和５年１月15日、劇団四季ファミリーミュージカルを開催。多可町による開催周知の協力もあり、チケット完売 【多可町】今年度も、大塚雅史氏の指導により、演劇セミナーを実施。発表公演は、令和４年４月17日開催					
	進捗状況	A：想定どおりの成果が得られた					
	取組の評価	両市町が実施する事業について、ポスター掲示やチラシの配布の協力体制をとることにより、事業内容の把握やチケット販売の推進を図り、入場者数の増加につなげた。					
	事業費（千円）	西脇市	3,568	多可町	2,942	合計	6,510
		内訳	【西脇市】劇団四季ファミリーミュージカル　3,568千円 【多可町】演劇セミナー・発表公演　2,942千円				
R5年度	取組計画	【西脇市・多可町】両市町に関連する事業について連携を密にし、広報を幅広く行うことにより、集客の増加につなげる。 【西脇市】今年度も近隣市町から集客が見込まれる劇団四季ファミリーミュージカルを開催予定 【多可町】大塚雅史氏の指導により、演劇セミナー及び子ども演劇セミナーを実施。発表公演は、令和５年12月17日開催。子ども演劇セミナーは令和5年11月5日開催					
	事業費（千円）	西脇市	4,480	多可町	3,650	合計	8,130
		内訳	【西脇市】劇団四季ファミリーミュージカル　4,480千円 【多可町】演劇セミナー・発表公演　3,400千円、子ども演劇セミナー　250千円				

成果指標（KPI）①

指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
市民ホール等利用者数	目標		—	77,957	79,505	81,054	82,602	84,150	人
	実績	72,591	34,224	70,952	75,498				
	達成率			91%	95%				
	評価		—	B	B				
指標結果の分析・評価	R4年度	コロナ禍の影響もあり目標人数を達成することはできなかったが、昨年度と比較し利用者数は6.4%増加した。							

事業内容			
分野	生活機能の強化		
政策	教育・文化	施策	文化財の保護及び利活用
事業概要	西脇市郷土資料館及び那珂ふれあい館が収蔵する文化財や歴史的資料などを活用し、共通のテーマによる企画展を開催します。また、文化財等の調査や保存活用の方法について調査研究する研究会を開催し、情報共有や文化財等の調査・活用に向けた連携を進めます。		
事業効果	自治体の枠組みを超えた連携により、文化財収蔵施設の業務の効率化を図ることができるとともに、文化財情報の共有・公開や企画展を通じた圏域文化財の発信により、文化財に対する意識の向上や郷土への愛着の醸成につながることが期待されます。		
事業	**16 文化財保存活用推進事業**	掲載ページ	72ページ

担当			
西脇市	生涯学習課	多可町	教育総務課

事業計画・取組状況

R4年度	取組実績	文化財等の調査や保存活用の方法について調査研究する研究会及び令和5年度開催の巡回共同企画展の打合せ会議を開催した。 なお、巡回企画展については、３年ごとに開催することとしているが、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、当初予定の令和４年度から令和５年度に開催年度を１年順延した。					
	進捗状況	C：不十分であるが一部において成果が得られた					
	取組の評価	文化財等の調査や保存活用の方法について調査研究する研究会を開催することにより、情報共有や文化財等の調査・活用に向けた連携が得られた。 令和5年度開催の巡回共同企画展の打合せ会議を開催し、実施計画書を作成した。					
	事業費（千円）	西脇市	0	多可町	0	合計	0
		内訳					
R5年度	取組計画	令和元年度以来となる巡回共同企画展を開催する。 文化財等の調査や保存活用の方法について調査研究する研究会を開催する。					
	事業費（千円）	西脇市	1,013	多可町	0	合計	1,013
		内訳	講師報償費　50千円、旅費　19千円、消耗品　50千円、印刷製本費　794千円、保険料　100千円 ※精算後に分担金（分担率　西脇７：多可町３）を多可町が西脇市に納入。				

成果指標（KPI）①

指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
共同企画展来館者数	目標		—	—	1,500	—	—	1,600	人
	実績	1,319	510	—	—				
	達成率			—	—				
	評価		—	—	—				
指標結果の分析・評価	R4年度	巡回共同企画展の開催を１年延期し、令和５年度に開催することとしたため、令和４年度の実績はなし。							

事業内容					
分野	生活機能の強化				
政策	産業振興	施策	農業の振興		
事業概要	圏域で栽培されている日本のへそゴマをはじめ、各市町の特産品を地域ブランドとして普及・浸透を図るとともに、地元農産物を活用した加工品の開発に取り組みます。また、イベントを通じたＰＲ活動などによる情報発信を行います。				
事業効果	地元農産物の生産と消費の拡大と知名度の向上を図ることができ、農商工連携による産業の創出と圏域経済の活性化が期待できます。				
事業	**17　地域ブランド普及開発推進事業**			掲載ページ	74ページ

担当			
西脇市	農林振興課	多可町	商工観光課

事業計画・取組状況								
R4年度	取組実績	【西脇市・多可町】地元農産物を活用した特産品の開発及びＰＲを実施 【西脇市】農業祭、黒田庄畜産共進会、兵庫県畜産共進会の実施を支援 【多可町】地域資源に対する消費の喚起・拡大を図り、まちの賑わいの創出をめざす。多可町ふれあいまつりを実施						
	進捗状況	Ａ：想定どおりの成果が得られた						
	取組の評価	地域に密着した支援を行うことで地元農産物の消費拡大と知名度の向上を図ることができた。						
	事業費（千円）	西脇市	870	多可町	40,417	合計	41,287	
		内訳	【西脇市】農業祭補助金　400千円、黒田庄和牛ブランド化支援補助金100千円、農と食の魅力づくり(特農産品開発)370千円 【多可町】地域ブランド推進事業35,708千円、ふれあいまつり補助金4,709千円					
R5年度	取組計画	【西脇市・多可町】地元農産物を活用した特産品の開発及びＰＲを実施 【西脇市】農業祭、黒田庄畜産共進会、兵庫県畜産共進会の実施を支援する。 【多可町】地域資源に対する消費の喚起・拡大を図り、まちの賑わいの創出をめざす。多可町ふれあいまつりの実施						
	事業費（千円）	西脇市	1,300	多可町	14,550	合計	15,850	
		内訳	【西脇市】農業祭補助金　400千円、黒田庄和牛ブランド化支援補助金100千円、農と食の魅力づくり(特農産品開発)800千円 【多可町】地域ブランド推進事業8,750千円、ふれあいまつり補助金5,800千円					

成果指標（KPI）①										
指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位	
北はりま旬菜館加工品売上高	目標		―	64,000	65,000	66,000	67,000	68,000	千円	
	実績	62,000	59,516	73,816	55,467					
	達成率			115%	85%					
	評価		―	A	C					
指標結果の分析・評価	R4年度	新型コロナウイルス感染症の感染拡大にともなう巣ごもり需要の終焉により、売り上げは落ち込んだものの、一定の成果が得られた。								

事業内容				
分野	生活機能の強化			
政策	産業振興	施策	農業の振興	
事業概要	圏域で生産された農産物と地元農産物を利用した加工食品などを受け入れ、一般消費者に販売する施設を運営します。また、農産物の生産から出荷までを管理する出荷者協議会による生産出荷体制の強化に向けた取組を支援します。			
事業効果	農産物等の販路を確保することにより、地産地消が拡大し、農業従事者等の生産・出荷意欲の向上が図られ、農業をはじめとした関連産業の活性化が期待できます。			
事業	**18　農産物直売所運営事業**		掲載ページ	75ページ

担当			
西脇市	農林振興課	多可町	商工観光課

事業計画・取組状況							
R4年度	取組実績	【西脇市・多可町】出荷者協議会の役員改選にあわせ多可町からの役員を３名選出、多可町からの出荷促進を図った。 【西脇市】農産物直売所について、㈱北はりま旬菜館の指定管理による運営を実施するとともに、出荷者協議会に対し、農産物の生産拡大や出荷促進を図った。売上推移と経営状況から自主運営が可能になったことから、Ｒ４～６年度の指定管理料の額を０円に変更した。 【多可町】町内の生産者に呼びかけ、㈱北はりま旬菜館で特産品、農産物の生産拡大や出荷促進を図った。					
	進捗状況	Ｂ：おおむね想定どおり（８割以上）の成果が得られた					
	取組の評価	新型コロナウイルス感染症の感染拡大にともなう巣ごもり需要の終焉により、売り上げは落ち込んだものの、農産物の生産拡大、出荷促進に一定の効果が図られた。					
	事業費（千円）	西脇市	1,175	多可町	0	合計	1,175
		内訳	【西脇市】集出荷業務委託1,000千円、備品購入費、消耗品費ほか175千円				
R5年度	取組計画	【西脇市】農産物直売所について、㈱北はりま旬菜館の指定管理による運営を実施するとともに、出荷者協議会に対し、農産物の生産拡大や出荷促進を図る。 【多可町】町内の生産者に呼びかけ、㈱北はりま旬菜館で特産品、農産物の生産拡大や出荷促進を図る。					
	事業費（千円）	西脇市	1,889	多可町	0	合計	1,889
		内訳	【西脇市】集出荷業務委託1,000千円、備品購入費、消耗品費ほか889千円				

成果指標（KPI）①										
指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位	
北はりま旬菜館圏域出荷者売上高	目標		—	125,000	130,000	135,000	140,000	145,000	千円	
	実績	117,000	146,476	141,614	120,439					
	達成率			113%	93%					
	評価		—	A	B					
指標結果の分析・評価	R4年度	新型コロナウイルス感染症の感染拡大にともなう巣ごもり需要の終焉により、売り上げは落ち込んだものの、一定の成果が得られた。								

事業内容			
分野	生活機能の強化		
政策	産業振興	施策	商工業の振興
事業概要	西脇商工会議所や多可町商工会、その他商工団体、金融機関等と連携し、地域の中小企業・小規模事業者の持続的な成長に向けた支援を行います。また、地場産業「播州織」など、共通する産業資源をテーマに連携した支援を行うほか、圏域で一体的な活動を行う商工団体を対象に、自治体の枠組みを超えた支援を行います。		
事業効果	西脇市と多可町は、共通する地域産業を有しており、一体的な経済圏を形成していることに加え、一つの組織として活動する商工関係団体もあり、地域企業の活動支援に一体的に取り組んでいくことで持続的な経済発展につながります。		
事業	**19 地域事業者成長支援事業**	掲載ページ	77ページ

担当			
西脇市	商工観光課	多可町	商工観光課

事業計画・取組状況							
R4年度	取組実績	【西脇市・多可町】 ・西脇・多可「播州織」連携会議において、西脇商工会議所・多可商工会と連携し、播州織事業者の販路開拓とともに、産地イベント播州織産地博覧会の開催を支援した。 ・西脇多可料飲組合において、地域食材を活用した新メニューの開発と販売促進イベントの開催を支援した。 ・西脇商工会議所・多可商工会と連携し、11月に地域企業が参加する合同就職説明会を西脇市市民交流施設「オリナス」で開催した。					
	進捗状況	B：おおむね想定どおり（８割以上）の成果が得られた					
	取組の評価	・コロナ禍が続く中、３年ぶりに産地イベント「播州織産地博覧会」が実施され、業界団体等と連携し、地域に密着した商工業者の支援を適切に行うことができた。 ・地域食材を活用することで、消費に貢献するとともに、地域の活性化に資することができた。 ・合同就職説明会の会場を「オリナス」に変更することで、求職者に参加しやすい環境を創出することができた。					
	事業費（千円）	西脇市	4,320	多可町	110	合計	4,430
		内訳	【西脇市】・地域商業対策事業（料飲・酒販補助分）120千円、飲食サービス事業者応援事業(料飲補助分）3,000千円、商工業振興事業（会議所・播州織按分）200千円、地域イベント再開支援事業（会議所）1,000千円 【多可町】 ・西脇多可播州織連携事業補助金 110千円				
R5年度	取組計画	【西脇市・多可町】 ・関係機関が連携し、地域内の播州織事業者の販路開拓と産地イベント播州織産地博覧会の開催を支援する。また、万博を視野に生産現場の見学体験ができるオープンファクトリーの実施方法を検討する。 ・西脇多可料飲組合において、地域食材を活用した共通のメニュー販売促進イベント開催を支援する。 ・西脇商工会議所・多可商工会と連携し、10月に地域企業が参加する合同就職説明会を西脇市内で開催する。					
	事業費（千円）	西脇市	1,320	多可町	400	合計	1,720
		内訳	【西脇市】・地域商業対策事業（料飲・酒販補助分）120千円、地域商業対策事業（会議所分）1,000千円、商工業振興事業（会議所・播州織按分）200千円 【多可町】 ・播州織ブランド化事業補助金 400千円				

成果指標（KPI）①										
指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位	
連携事業に参加した事業所数	目標		―	70	70	70	80	80	事業所	
	実績	59	99	51	62					
	達成率			73%	89%					
	評価		―	C	C					
指標結果の分析・評価	R4年度	目標を下回ったが、長引くコロナ禍で一部イベント等を再開する中において一定の成果を上げることができた。								

事業内容					
分野	生活機能の強化				
政策	産業振興		施策	鳥獣被害防止対策の推進	
事業概要	農作物への鳥獣被害やそれに伴う耕作放棄などが深刻化する中、捕獲したシカを地域資源として有効活用するため、捕獲有害鳥獣を原材料として活用するシカ肉加工施設の運営を支援します。				
事業効果	従来廃棄物として処分している捕獲鳥獣を資源として有効活用することができ、新たな地域産業の創出や地域経済への貢献が期待できます。				
事業	**20 有害鳥獣有効活用事業**			掲載ページ	79ページ

担当			
西脇市	農林振興課	多可町	産業振興課

事業計画・取組状況							
R4年度	取組実績	両市町において有害鳥獣として捕獲したシカをNPO法人が運営するシカの処理加工施設に搬入し、食肉に加工することで資源として有効活用した。					
	進捗状況	A：想定どおりの成果が得られた					
	取組の評価	【西脇市・多可町】従来廃棄物として処分していた有害鳥獣駆除により捕獲したシカを資源として有効活用することができた。 【多可町】シカの処理加工施設に搬入することで、資源として活用することができるとともに、新たな地域産業の創出や地域経済に貢献できた。					
	事業費（千円）	西脇市	308	多可町	1,060	合計	1,368
		内訳	【西脇市】 シカ処理業務委託料 @2,000×154頭 【多可町】 シカ肉処理加工業務委託料 @5000×212頭				
R5年度	取組計画	農作物への鳥獣被害やそれに伴う耕作放棄などが深刻化する中、引き続き従来廃棄物として処分していた有害鳥獣駆除により捕獲したシカをNPO法人が運営するシカの処理加工施設に搬入し、資源として有効活用することで、新たな地域産業の創出や地域経済に貢献する。					
	事業費（千円）	西脇市	300	多可町	750	合計	1,050
		内訳	【西脇市】 シカ処理業務委託料 @2,000×150頭 【多可町】 シカ肉処理加工業務委託料 @5000×150頭				

成果指標（KPI）①										
指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位	
シカ肉加工施設への搬入頭数	目標		—	325	325	325	325	325	頭	
	実績	325	408	407	366					
	達成率			125%	113%					
	評価		—	A	A					
指標結果の分析・評価	R4年度	【西脇市】シカ処理業務委託料を活用することで搬入量が増加した。 【多可町】シカ捕獲頭数が減少していることに伴い、搬入量が減少した。								

事業内容				
分野	生活機能の強化			
政策	その他	施策	地域防災力の向上	
事業概要	災害警戒時の相互情報提供や平時の防災訓練の連携など、圏域全体での防災力の向上につながる体制の整備・充実を図るとともに、消防無線等を利用した圏域の消防・防災情報の伝達体制の検討を進めます。			
事業効果	圏域の実状等を踏まえた消防・防災情報の伝達体制の整備や災害に備えた合同訓練などを共同で実施することで、危機管理体制の維持・向上と災害発生時の被害を軽減することが期待できます。			
事業	**21　消防・防災危機管理体制の整備検討**		掲載ページ	81ページ

担当			
西脇市	防災安全課	多可町	生活安全課

事業計画・取組状況							
R4年度	取組実績	【西脇市・多可町】災害警戒時の相互情報提供や圏域の消防・防災情報の伝達体制の在り方について協議を行った。					
	進捗状況	B：おおむね想定どおり（８割以上）の成果が得られた					
	取組の評価	災害警戒時における市町間の迅速な連絡体制を強化することができた。					
	事業費（千円）	西脇市	0	多可町	0	合計	0
		内訳					
R5年度	取組計画	【西脇市・多可町】災害警戒時の相互情報提供や平時の圏域の消防・防災情報の伝達体制の在り方について協議し、図上訓練を行う。					
	事業費（千円）	西脇市	50	多可町	50	合計	100
		内訳	【西脇市・多可町】情報共有、図上訓練の事務費				

成果指標（KPI）①										
指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位	
検討会・連携訓練開催回数	目標		―	2	2	2	2	2	回	
	実績	2	2	2	2					
	達成率			100%	100%					
	評価		―	A	A					
指標結果の分析・評価	R4年度	災害警戒時の相互情報提供や圏域の消防・防災情報の伝達体制の確認ができた。								

事業内容					
分野	生活機能の強化				
政策	その他		施策	地域防災力の向上	
事業概要	災害警戒時に圏域の河川の水位情報がリアルタイムで把握できるよう河川水位監視用カメラの設置と橋脚への水位標高の表示の整備について、調査検討や関係機関との事業調整を共同で行います。				
事業効果	迅速で確実性の高い情報伝達を行うことができ、避難準備情報や避難勧告の発令の判断基準として活用することで、浸水被害の防止や軽減を図ることが期待できます。				
事業	**22 水位監視対策事業**			掲載ページ	82ページ

担当			
西脇市	防災安全課	多可町	生活安全課

事業計画・取組状況							
R4年度	取組実績	【西脇市・多可町】橋脚への水位標高の表示の整備について両市町で調査検討を行った。					
	進捗状況	B：おおむね想定どおり（８割以上）の成果が得られた					
	取組の評価	河川監視カメラの設置について、当初の目的が達成されたが、水位標高の表示の整備については、次年度要望に向けた調査研究が必要					
	事業費（千円）	西脇市	0	多可町	0	合計	0
		内訳					
R5年度	取組計画	【西脇市・多可町】橋脚への水位標高の表示の整備について両市町で調査検討し、状況により兵庫県に対して要望を行う。					
	事業費（千円）	西脇市	50	多可町	50	合計	100
		内訳	【西脇市・多可町】調査研究活動費				

成果指標（KPI）①										
指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位	
河川水位監視カメラ等設置箇所数	目標		—	16	17	17	18	18	箇所（累計）	
	実績	14	14	22	22					
	達成率			138%	129%					
	評価		—	A	A					
指標結果の分析・評価	R4年度	当初の設置個所数を達成できた。								

事業内容					
分野	生活機能の強化				
政策	その他		施策	ごみ処理業務の連携	
事業概要	圏域の美しいまちづくりを推進し、快適で衛生的な生活環境を維持するため、ごみ処理施設の運営とごみ収集運搬業務を西脇多可行政事務組合で行います。				
事業効果	ごみ処理業務の運営の効率化により、環境負荷の軽減を図ることができ、快適で衛生的な生活環境を確保することができます。				
事業	**23 ごみ処理事業**			掲載ページ	84ページ

担当	
西脇市・多可町	西脇多可行政事務組合　業務課

事業計画・取組状況							
R4年度	取組実績	【西脇市・多可町】圏域内のごみの収集、ごみ処理施設の管理運営、再資源化等を行うため、西脇多可行政事務組合に負担金を拠出した。 【組合】圏域の美しいまちづくりを推進し、快適で衛生的な生活環境を維持するため、ごみ処理施設の運営とごみ収集運搬業務を西脇多可行政事務組合で行った。					
	進捗状況	B：おおむね想定どおり（８割以上）の成果が得られた					
	取組の評価	西脇市・多可町圏域内のごみの収集、ごみ処理施設の管理運営、再資源化等を行った。 広域処理により、圏域の美しいまちづくりを推進し、快適で衛生的な生活環境の維持を図った。					
	事業費（千円）	西脇市	593,971	多可町	286,927	合計	880,898
		内訳	西脇市負担金　593,971千円　多可町負担金　286,927千円　計880,898千円 参考：事業実績　清掃業務　1,015,321千円				
R5年度	取組計画	【西脇市・多可町】圏域内のごみの収集、ごみ処理施設の管理運営、再資源化等を行うため、西脇多可行政事務組合に負担金を拠出する。 【組合】圏域の美しいまちづくりを推進し、快適で衛生的な生活環境を維持するため、ごみ処理施設の運営とごみ収集運搬業務を西脇多可行政事務組合で行う。					
	事業費（千円）	西脇市	583,176	多可町	279,063	合計	862,239
		内訳	西脇市負担金　583,176千円　多可町負担金　279,063千円　計　862,239千円 参考：事業予算　清掃業務1,047,967千円				

成果指標（KPI）①

指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
生活系可燃ごみ年間排出量	目標		―	8,314	8,174	8,035	7,827	7,615	トン
	実績	8,897	8,741	8,723	8,503				
	達成率			95%	96%				
	評価			B	B				
指標結果の分析・評価	R4年度	指定収集袋制度・容器包装プラの分別による減量効果は維持できているが、目標に対する年間排出量の減少傾向は微弱となっている。							

事業内容			
分野	生活機能の強化		
政策	その他	施策	ごみ処理業務の連携
事業概要	廃棄物の適正処理と３Ｒ（リデュース・リユース・リサイクル）による環境負荷の低減を総合的に推進するため、発生するエネルギーの有効利用などに留意しながら、新たなごみ処理施設を整備します。		
事業効果	圏域の廃棄物の適正処理や３Ｒの推進、エネルギーの有効活用などにより環境負荷が少ない地域づくりが期待できます。		
事業	**24　新ごみ処理施設整備事業**	掲載ページ	85ページ

担当	
西脇市・多可町	西脇多可行政事務組合　資源循環課

事業計画・取組状況

R4年度	取組実績	【西脇市・多可町】 新ごみ処理施設整備に当たって、西脇多可行政事務組合に負担金を拠出した。 【組合】 令和４年９月に敷地造成工事の発注及び施設建設工事の事業者の募集公告を実施。年末には、敷地造成工事を現場着手した。また、年度末には参加資格事業者によるプレゼン及び施設整備委員会によるヒアリングを実施した。					
	進捗状況	Ｂ：おおむね想定どおり（８割以上）の成果が得られた					
	取組の評価	予定どおり、敷地造成工事を発注し、現場着手することができた。また、施設建設工事の事業者の募集公告も予定どおり実施したが、優先交渉権者の決定には至らなかった。（令和５年４月に決定、５月末には工事請負契約を締結）					
	事業費（千円）	西脇市	27,681	多可町	22,069	合計	49,750
		内訳	西脇市：負担金27,681千円　多可町：負担金22,069千円 ※総事業費：125,799千円（新ごみ処理施設整備事業 86,355千円、施設整備委員会運営事業 116千円ほか）				
R5年度	取組計画	【西脇市・多可町】 新ごみ処理施設整備に当たって、西脇多可行政事務組合に負担金を拠出する。 【組合】 令和５年末に敷地造成工事完了を予定している。施設建設工事については、５月末に工事請負契約議案の可決後、契約を締結。その後、土木・建築及びプラント設備の実施設計に着手し、年度末には設計完了の見込み。					
	事業費（千円）	西脇市	235,430	多可町	221,224	合計	456,654
		内訳	西脇市：負担金235,430千円　多可町：負担金221,224千円 ※総事業費：630,052千円（新ごみ処理施設整備事業 586,674千円、施設整備委員会運営事業 226千円ほか）				

成果指標（KPI）①

指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
新ごみ処理施設整備進捗率	目標		—	17	63	100	—	—	%
	実績	0	1	2	3				
	達成率			12%	5%				
	評価		—	D	D				
指標結果の分析・評価	R4年度	当初の計画を２年間延期し、令和８年４月稼働開始を目指すこととしたため、当初の目標値については達成できていない。							

事業内容					
分野	生活機能の強化				
政策	その他		施策	火葬及び葬儀業務の連携	
事業概要	圏域の快適で衛生的な生活環境を維持するため、広域斎場を設置し、火葬・葬儀業務を西脇多可行政事務組合で行う。				
事業効果	火葬・葬儀業務の運営の効率化により、快適で衛生的な生活環境を確保するとともに、簡素で低廉な葬儀を行うことができます。				
事業	**25 広域斎場管理運営事業**			掲載ページ	87ページ

担当	
西脇市・多可町	西脇多可行政事務組合　業務課

事業計画・取組状況							
R4年度	取組実績	【西脇市・多可町】圏域の火葬・葬儀業務を行う広域斎場を運営するため、西脇多可行政事務組合に負担金を拠出した。 【組合】事務組合による斎場運営を行うとともに、定期的な保守点検・整備及び火葬炉の修繕を実施した。葬祭場・和室等式場利用率67.3%					
	進捗状況	B：おおむね想定どおり（８割以上）の成果が得られた					
	取組の評価	広域処理により、斎場運営の効率化を図ることで、快適で衛生的な生活環境を確保し、利用者が簡素で低廉な葬儀を行うことにつながった。					
	事業費（千円）	西脇市	9,784	多可町	5,700	合計	15,484
		内訳	西脇市負担金　9,784千円　多可町負担金　5,700千円　計　15,484千円 参考：事業実績　斎場施設等維持管理運営事業164,751千円、車両維持管理事業1,952千円、基金積立事業14,212千円				
R5年度	取組計画	【西脇市・多可町】圏域の火葬・葬儀業務を行う広域斎場を運営するため、西脇多可行政事務組合に負担金を拠出する。 【組合】定期的な保守点検・整備を実施するとともに、火葬炉の修繕等を行う。事務組合により斎場運営の効率化を図り、快適で衛生的な生活環境を確保するとともに、簡素で低廉な葬儀を行う。					
	事業費（千円）	西脇市	22,142	多可町	12,873	合計	35,015
		内訳	西脇市負担金　22,142千円　多可町負担金　12,873千円　計　35,015千円 参考：事業予算　斎場施設等維持管理運営事業159,847千円、車両維持管理事業2,554千円、基金積立事業14,053千円				

成果指標（KPI）①										
指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位	
葬祭場・和室等式場利用率	目標		—	73	73	73	73	73	%	
	実績	73	68.9	66.4	67.3					
	達成率			91%	92%					
	評価			B	B					
指標結果の分析・評価	R4年度	コロナ対策の進展とともに、葬祭場等の利用率は、前年度と比べ増加しており、概ね目標数値を確保している。								

事業内容					
分野	生活機能の強化				
政策	その他	施策	上下水道業務の連携		
事業概要	緊急時の水道相互供給に向けた連絡管の整備など、危機管理体制の強化や事業運営の効率化に向けた連携事業を検討し、圏域における安定的な上下水道事業運営を推進します。				
事業効果	各市町が保有する施設等、経営資源の有効活用及びお客様サービスの向上につながることが期待されます。				
事業	**26 上下水道基盤強化事業**			掲載ページ	89ページ

担当			
西脇市	施設管理課	多可町	上下水道課

事業計画・取組状況							
R4年度	取組実績	多可町から西脇市への給水の必要性については意見は一致しているが、災害時や渇水時等における対策として連絡管を整備する当初の給水方式の考え方に相違が生じたため、方針決定に向けた協議を、県を交えて１回実施した。					
	進捗状況	D：成果が得られていない					
	取組の評価	引き続き、方針決定に向けた協議を進める必要がある。					
	事業費（千円）	西脇市	0	多可町	0	合計	0
		内訳					
R5年度	取組計画	引き続き、方針決定に向けた協議を進める。					
	事業費（千円）	西脇市	0	多可町	0	合計	0
		内訳					

成果指標（KPI）①										
指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位	
連絡管接続箇所数	目標		—	0	0	0	1	1	箇所（累計）	
	実績	0	0	0	0					
	達成率			—	—					
	評価		—	—	—					
指標結果の分析・評価	R4年度	引き続き、方針決定に向けた協議を進める必要がある。								

事業内容				
分野	結びつきやネットワークの強化			
政策	地域公共交通	施策	地域公共交通ネットワークの維持及び強化	
事業概要	圏域住民等の移動手段となる路線バスを運行するバス事業者に対し、運行経費を補助するとともに、圏域住民の利便性と運行の効率性に配慮の上、市町を越えて運行するコミュニティバスの運行を行います。また、都市機能が一定程度集積する市街化区域等を中心に公共交通ネットワークを整備し、地域間の移動を促進します。			
事業効果	交通弱者等のバス利用者が自由に安心して外出できる利便性の高い移動手段を確保することができます。			
事業	**27 地域公共交通ネットワーク事業**		掲載ページ	91ページ

担当			
西脇市	まちづくり課	多可町	企画秘書課

事業計画・取組状況							
R4年度	取組実績	【西脇市・多可町】昨年度に引き続き、両市町間を接続する路線バスに対して、市町が協調して運行経費の補助を行った。 【西脇市】コミュニティバス、デマンド型交通の運行を行うとともに、バスの均一料金制度を維持した。 【多可町】神姫バス大和線の大和～八千代小学校前間について、ウィング神姫(神姫グリーンバス）による運行に変更した。また、中黒田線を実証運行から本格運行に変更した。					
	進捗状況	A：想定どおりの成果が得られた					
	取組の評価	【西脇市・多可町】両市町間を接続する路線バスに対して、市町が協調して運行経費を補助することで、路線を維持することができた。 【西脇市】再編後のコミュニティバス、デマンド型交通ともに支障なく運行できており、利用者数についても順調に推移している。 【多可町】神姫バス大和線の大和～八千代小学校前間について、ウィング神姫(神姫グリーンバス）による運行に変更するとともに、中黒田線を本格運行に変更し、移動手段の維持確保を図った。					
	事業費（千円）	西脇市	81,281	多可町	89,286	合計	170,567
		内訳	【西脇市】コミバス・路線バス補助金36,035千円、デマンド型交通運行委託料37,425千円、システム使用料・人件費7,821千円 【多可町】路線バス運行補助ほか32,896千円、コミバス運行補助14,785千円、路線バス差額運賃助成39,217千円、多可高生通学定期補助1,075千円、タクシー利用助成1,313千円				
R5年度	取組計画	【西脇市・多可町】昨年度に引き続き、両市町間を接続する路線バスに対して、市町が協調して運行経費の補助を行う。 【西脇市】コミュニティバス、デマンド型交通の運行を行うとともに、バスの均一料金制度を維持する。 【多可町】路線バスの運行を行うとともに、バスの均一料金制度を維持する。					
	事業費（千円）	西脇市	96,612	多可町	94,562	合計	191,174
		内訳	【西脇市】コミバス・路線バス補助金39,350千円、デマンド型交通運行委託料49,002千円、システム使用料・人件費8,260千円 【多可町】路線バス運行補助37,762千円、コミバス運行補助12,000千円、路線バス差額運賃助成42,000千円、多可高生通学定期補助1,000千円、タクシー利用助成1,800千円				

成果指標（KPI）①										
指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位	
公共交通利用者数	目標		—	174,000	181,000	181,000	181,000	181,000	人	
	実績	145,500	146,530	232,055	260,522					
	達成率			133%	144%					
	評価		—	A	A					
指標結果の分析・評価	R4年度	【西脇市】PR動画を活用するなどして利用促進に努めた結果、目標を達成できた。 【多可町】通学利用を中心に利用者数が堅調に推移した。								

事業内容					
分野	結びつきやネットワークの強化				
政策	道路等の交通インフラの整備	施策	幹線道路の整備		
事業概要	救急搬送体制の強化や産業振興をはじめ、圏域の活性化に必要不可欠となる圏域内外を結ぶ広域幹線道路である国道427号の整備を促進します。特に西脇道路と豊部バイパスの整備促進に向け、関係機関と事業調整等を行います。				
事業効果	圏域における円滑な道路交通体系が形成され、圏域内外の交流や連携が活発になるとともに、圏域住民の交通の利便性の向上を図ることができます。				
事業	**28 国道427号整備促進事業**			掲載ページ	93ページ

担当			
西脇市	国県事業推進室	多可町	建設課

事業計画・取組状況							
R4年度	取組実績	国道427号・都市計画道路西脇上戸田線整備促進期成同盟会（会長：多可町長、副会長：西脇市長）による、兵庫県及び国への要望活動の実施					
	進捗状況	B：おおむね想定どおり（８割以上）の成果が得られた					
	取組の評価	兵庫県及び国への要望活動を予定通り実施し、令和4年度から都市計画道路西脇上戸田線において用地補償を本格的に開始 国道427号豊部バイパスでは、令和４年6月全線供用開始					
	事業費（千円）	西脇市	50	多可町	50	合計	100
		内訳	国道427号・都市計画道路西脇上戸田線整備促進期成同盟会　負担金（西脇市50千円、多可町50千円）				
R5年度	取組計画	国道427号・都市計画道路西脇上戸田線整備促進期成同盟会（会長：多可町長、副会長：西脇市長）による、兵庫県及び国への要望活動の実施					
	事業費（千円）	西脇市	50	多可町	50	合計	100
		内訳	国道427号・都市計画道路西脇上戸田線整備促進期成同盟会　負担金（西脇市50千円、多可町50千円）				

成果指標（KPI）①										
指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位	
要望活動実施回数	目標		—	1	1	1	1	1	回	
	実績	1	1	1	1					
	達成率			100%	100%					
	評価		—	A	A					
指標結果の分析・評価	R4年度	予定どおり要望活動を実施した。								

事業内容				
分野	結びつきやネットワークの強化			
政策	道路等の交通インフラの整備	施策	幹線道路の整備	
事業概要	圏域内の児童・生徒の通学時の安全・安心を確保するとともに、圏域内外の交流を促進するため、自転車ネットワークを形成し、快適な自転車利用環境を創出します。			
事業効果	圏域における自転車ネットワークが形成され、圏域内の交通の安全性、利便性が向上するとともに、圏域内外の交流や連携が活発になることが期待されます。			
事業	**29 自転車ネットワーク形成事業**		掲載ページ	94ページ

担当			
西脇市	工務課	多可町	建設課

事業計画・取組状況							
R4年度	取組実績	【西脇市・多可町】圏域内の児童・生徒の通学時の安全・安心を確保するとともに、快適な自転車利用環境の創出に取り組んだ。 【西脇市】自転車ネットワーク計画に基づき、道路整備を行った。					
	進捗状況	A：想定どおりの成果が得られた					
	取組の評価	【西脇市】自転車ネットワーク計画に基づく整備路線について、整備予定の見直しを行ったが、目標どおりの成果が得られた。＜整備箇所：新庁舎周辺道路（0.73km）＞					
	事業費（千円）		5,000	多可町	0	合計	5,000
		内訳	【西脇市】工事請負費（自転車ネットワーク路線の整備） 【多可町】―				
R5年度	取組計画	【西脇市・多可町】圏域内の児童・生徒の通学時の安全・安心を確保するとともに、快適な自転車利用環境を創出する。 【西脇市】自転車ネットワーク計画に基づき、道路整備を推進する。					
	事業費（千円）	西脇市	5,000	多可町	0	合計	5,000
		内訳	【西脇市】工事請負費（自転車ネットワーク路線の整備）				

成果指標（KPI）①										
指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位	
自転車ネットワーク整備延長	目標		―	2.05	2.78	3.59	3.73	4.22	km（累計）	
	実績	2.05	2.05	2.05	2.78					
	達成率			100%	100%					
	評価		―	A	A					
指標結果の分析・評価	R4年度	整備の推進により、目標どおりの成果が得られた。								

事業内容			
分野	結びつきやネットワークの強化		
政策	地域内外の住民との交流・移住促進	施策	地域資源の活用による交流・移住の促進
事業概要	北はりま田園博物館総合案内所を拠点に地域づくり活動を行うＮＰＯ法人北はりま田園空間博物館を支援するとともに、滞在型市民農園等を活用した農業体験など、豊かな自然環境や地域資源を生かした都市・農村交流やにぎわいの創出などを図ります。		
事業効果	圏域の多様な地域資源を活用することで、圏域の魅力が高まり、交流人口の拡大と郷土に対する誇りの醸成を図ることができ、圏域の活性化につながることが期待できます。		
事業	**30 観光交流促進事業**	掲載ページ	96ページ

担当			
西脇市	商工観光課／農林振興課	多可町	商工観光課

事業計画・取組状況

R4年度	取組実績	圏域と都市との交流と、圏域の活性化を図る北はりま田園空間博物館事業を推進するＮＰＯ法人の活動を支援するとともに、総合案内所を活用した飲食事業者等との連携事業を実施した。また、都市住民へ農作業体験の場として滞在型市民農園を広報した。					
	進捗状況	A：想定どおりの成果が得られた					
	取組の評価	従来のNPO活動の支援のほか、集客力のある道の駅機能を有効活用した飲食事業者との連携事業を昨年度に引き続き実施することができた。また、滞在型市民農園においては、問い合わせや申込者が増加し、待機者も増加した。					
	事業費（千円）	西脇市	12,889	多可町	1,862	合計	14,751
		内訳	西脇市：田空指定管理料（14,200千円）＋ロータリーこどもの森管理委託料（180千円）-多可町負担金（1,491千円） 多可町：田空負担金（1,491千円）、滞在型市民農園建物災害共済分担金（371千円）				
R5年度	取組計画	圏域と都市との交流と、圏域の活性化を図る北はりま田園空間博物館事業を推進するＮＰＯ法人の活動を支援する。また、都市住民へ農作業体験の場として滞在型市民農園を広報する。					
	事業費（千円）	西脇市	12,887	多可町	1,864	合計	14,751
		内訳	西脇市：田空指定管理料（14,200千円）＋ロータリーこどもの森管理委託料（180千円）-多可町負担金（1,493千円） 多可町：田空負担金（1,493千円）、滞在型市民農園建物災害共済分担金（371千円）				

成果指標（KPI）①

指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
圏域観光入込客数	目標		—	1,736	1,878	2,020	2,162	2,304	千人
	実績	2,304	1,717	1,699	1,995				
	達成率			98%	106%				
	評価		—	B	A				
指標結果の分析・評価	R4年度	まん延防止等重点措置の全面解除や全国旅行支援により前年度に比べ入込客数は増加し、目標を上回ったが、コロナ禍前の状態には回復していない。							

成果指標（KPI）②

指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
田園空間博物館利用者数	目標		—	400	412	424	437	450	千人
	実績	431	408	380	376				
	達成率			95%	91%				
	評価		—	B	B				
指標結果の分析・評価	R4年度	長引くコロナ禍で行動制限等が続く中、目標の利用者数を少し下回った。							

事業内容					
分野	結びつきやネットワークの強化				
政策	地域内外の住民との交流・移住促進		施策	地域資源の活用による交流・移住の促進	
事業概要	圏域内で結婚を希望する未婚男女に対し、出会いの機会の創出などの支援を行うとともに、圏域の地域特性を生かした移住・定住の魅力発信や移住者の受入体制の充実を図ります。				
事業効果	男女の出会いの場を創出することや、移住者の交流の場の設置など受入体制の充実に向けた検討、暮らしやすさや子育てに適した環境等の情報発信やＰＲ活動を行うことで、圏域への移住及び圏域内での定住の促進を図り、人口対策の促進や少子化対策に資することが期待できます。				
事業	**31 移住・定住促進事業**			掲載ページ	97ページ

担当			
西脇市	まちづくり課	多可町	定住推進課

事業計画・取組状況							
R4年度	取組実績	【西脇市】オンライン移住相談、空き家バンクの運営、お試し滞在支援事業等の移住支援に係る事業の実施、また出会いのパーティーの開催など結婚活動支援事業の実施により、圏域内での移住・定住の促進につなげることができた。 【多可町】移住に向けての７ステップをまとめたガイドブック「たか暮らし手帖」を作成、あったか結婚お祝い金助成金の制度を新設した。					
	進捗状況	A：想定どおりの成果が得られた					
	取組の評価	【西脇市】オンラインによる移住相談窓口を毎週１回（水曜日のみ）から月曜日から金曜日までの実施に拡充し、利便性を高めることができた。また、新型コロナウイルス感染症の影響によりR２・３は開催を見送っていた出会いのパーティーを実施し、６組のカップル成立につなげることができた。 【多可町】あったか結婚お祝い金助成事業で10件の助成、お試し住宅へは２世帯、子育て・若者世帯向け特別賃貸町営住宅へ２世帯の入居。また、空き家活用支援事業など各種住宅助成事業を実施した。					
	事業費（千円）	西脇市	255	多可町	21,628	合計	21,883
		内訳	【西脇市】お試し滞在支援事業補助金42千円（3件）、結婚活動支援事業委託料150千円ほか 【多可町】移住定住業務委託料3,137千円、空き家バンク運営委託料2,632千円、中古住宅購入助成1,600千円（11件）、空き家活用支援事業2,700千円（1件）、あったか家族多世代住宅助成6,300千円（21件）、住宅リフォーム助成1,977千円（41件）、あったか結婚お祝い金1,000千円（10件）ほか				
R5年度	取組計画	【西脇市】空き家バンクの物件登録及び利用者登録の推進、移住相談窓口の周知及びきめ細かい相談の実施、出会いのパーティーの開催等 【多可町】移住サポーターを新設し、移住定住希望者のニーズの把握、きめ細かで柔軟な対応、相談会やツアーの一体的な実施により移住定住の推進を図る。					
	事業費（千円）	西脇市	3,300	多可町	35,226	合計	38,526
		内訳	【西脇市】移住支援事業補助金（3,000千円）、結婚活動支援事業委託料（150千円）ほか 【多可町】移住サポーター経費（800千円）、移住支援金（3,000千円）、空き家バンク運営委託料（2,500千円）、中古住宅購入助成（2,000千円）、空き家活用支援事業（9,330千円）、あったか家族多世代住宅助成（6,000千円）、住宅リフォーム助成（4,000千円）、あったか結婚お祝い金（1,000千円）ほか				

成果指標（KPI）①										
指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位	
結婚活動支援件数	目標		—	16	16	16	16	16	件	
	実績	16	3	17	24					
	達成率			106%	150%					
	評価		—	A	A					
指標結果の分析・評価	R4年度	感染症対策を工夫しながら出会いのパーティーを開催するとともに、結婚活動への支援を行い、目標に掲げる件数を超える支援を行うことができた。								

成果指標（KPI）②										
指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位	
市町施策を通じた圏域定着者数	目標		—	70	72	74	76	78	人	
	実績	95	138	148	103					
	達成率			211%	143%					
	評価		—	A	A					
指標結果の分析・評価	R4年度	KPI①の分析・評価に加え、多可町では、あったか結婚お祝い金助成金の制度を新設し支援件数が増加した。								

事業内容					
分野	結びつきやネットワークの強化				
政策	その他	施策	環境・エネルギー対策の推進		
事業概要	圏域が有する豊富な森林資源から産出される間伐材等をエネルギー資源として有効活用する木質バイオマスエネルギーの利用促進と普及拡大を図るため、木質バイオマス供給センターの運営を支援するとともに、チップボイラーの民間事業者等への導入を促進します。				
事業効果	化石燃料の代替エネルギーとして利用することで、二酸化炭素排出量の削減と森林資源の有効活用を図ることができ、地球環境への負荷の少ない資源循環型社会システムの構築につながります。				
事業	**32 木質バイオマスエネルギー利用促進事業**			掲載ページ	99ページ

担当			
西脇市	環境課	多可町	商工観光課／産業振興課

事業計画・取組状況							
R4年度	取組実績	【西脇市・多可町】北はりま森林組合等と調整し、安定した間伐材の確保を図った。また、チップボイラーの民間普及に向けて情報発信を行った。 【多可町】チップ燃料の供給地として、原料となる原木を確保し、需用者への販売を北はりま森林組合が行った。					
	進捗状況	A：想定どおりの成果が得られた					
	取組の評価	【西脇市・多可町】燃料費の高騰により、木質チップの需要が高まったが、十分な供給対応ができた。					
	事業費（千円）	西脇市	0	多可町	0	合計	0
		内訳	【西脇市】－ 【多可町】－				
R5年度	取組計画	【西脇市・多可町】北はりま森林組合等と調整し、安定した間伐材の確保を図る。また、チップボイラーの民間普及に向けて情報発信を行う。 【多可町】チップ燃料の供給地として、原料となる原木を確保し、需用者への販売を北はりま森林組合により行う。					
	事業費（千円）	西脇市	0	多可町	0	合計	0
		内訳	【西脇市】－ 【多可町】－				

成果指標（KPI）①										
指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位	
木質バイオマス供給量	目標		—	3,800	4,100	4,400	4,700	5,000	トン	
	実績	3,200	3,725.3	4,211.3	4,317.8					
	達成率			111%	105%					
	評価		—	A	A					
指標結果の分析・評価	R4年度	生産された木質チップは、公共施設での利用量は若干減少したが、民間施設での利用量が増え、目標値を上回る結果となった。								

事業内容					
分野	結びつきやネットワークの強化				
政策	その他	施策	環境・エネルギー対策の推進		
事業概要	地球環境への負荷が少ない低炭素社会を形成するため、公共施設等への太陽光発電の設置など、自然と調和した再生可能エネルギーの導入を推進します。また、圏域全体での取組を推進するため、再生可能エネルギーへの利用転換や活用を支援する調査研究を行います。				
事業効果	二酸化炭素排出量の削減と圏域のエネルギー自給率の向上を図ることができ、地球環境への負荷の少ない資源循環型社会システムの構築につながることが期待されます。				
事業	**33 再生可能エネルギー導入推進事業**			掲載ページ	100ページ

担当			
西脇市	環境課	多可町	商工観光課

事業計画・取組状況

R4年度	取組実績	【西脇市・多可町】公共施設等への太陽光発電などの再生可能エネルギーの導入を推進した。 【西脇市】民間住宅を対象に、再生可能エネルギーを活用する設備の導入を支援した。 【多可町】民間事業者との連携で、太陽光発電システムの運用を行った。					
	進捗状況	B：おおむね想定どおり（８割以上）の成果が得られた					
	取組の評価	【西脇市】事業費の拡大により、交付件数が増加した（64件→88件） 【多可町】民間事業者と連携した太陽光発電システムの運用により、再生可能エネルギーの利活用を図ることができた。					
	事業費（千円）	西脇市	5,313	多可町	179	合計	5,492
		内訳	【西脇市】家庭用創エネ省エネ設備等導入促進事業奨励金5,313千円 【多可町】電気保安業務委託料179千円				
R5年度	取組計画	【西脇市・多可町】公共施設等への太陽光発電などの再生可能エネルギーの導入を推進する。 【西脇市】民間住宅を対象に、再生可能エネルギーを活用する設備の導入を支援する。 【多可町】民間事業者との連携で、太陽光発電システムの運用を行う。					
	事業費（千円）	西脇市	5,500	多可町	179	合計	5,679
		内訳	【西脇市】家庭用創エネ省エネ設備等導入促進事業奨励金5,500千円 【多可町】電気保安業務委託料179千円				

成果指標（KPI）①

指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
公共施設等への太陽光発電等の導入数	目標		—	24	24	24	24	24	施設数（累計）
	実績	23	23	23	24				
	達成率			96%	100%				
	評価		—	B	A				
指標結果の分析・評価	R4年度	既設の太陽光発電設備等について、適正に運用、管理を行った。							

成果指標（KPI）②

指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
家庭への太陽光発電（10kw未満）の導入数	目標		—	1,575	1,615	1,655	1,695	1,735	件数（累計）
	実績	1,538	1,584	1,659	1,757				
	達成率			105%	109%				
	評価		—	A	A				
指標結果の分析・評価	R4年度	民間住宅を対象に、再生可能エネルギーを活用する設備の導入を支援し、二酸化炭素の排出量を削減できた。							

事業内容					
分野	結びつきやネットワークの強化				
政策	その他	施策	住民相談窓口の相互利用		
事業概要	専門的知識を有する消費生活相談員を配置し、両市町で実施している消費生活・多重債務相談について、消費者被害への迅速で適切な対応を行うため、相談窓口の相互利用を実施し、相談体制の充実を図ります。				
事業効果	相談体制の充実と相談窓口の利便性の向上により、圏域住民の消費生活の安定と向上を図ることができます。				
事業	**34 消費生活・多重債務相談窓口の相互利用の推進**			掲載ページ	102ページ

担当			
西脇市	防災安全課	多可町	生活安全課

事業計画・取組状況							
R4年度	取組実績	【西脇市・多可町】専門的知識を有する消費生活相談員を配置し、両市町で実施している消費生活・多重債務相談について、相談窓口の相互利用をすることで役所の全営業日（相談員出勤日：西脇市３日/週、多可町２日/週）に相談窓口を開設するとともに、相談事例の情報共有を図った。					
	進捗状況	A：想定どおりの成果が得られた					
	取組の評価	両市町で相談員による相談業務を実施していることから、急な相談があった場合にも、西脇市と多可町で相互に相談を受けることができた。また、他市町の相談を受けることで、消費者問題の傾向を知るきっかけとなった。					
	事業費（千円）	西脇市	2,717	多可町	2,851	合計	5,568
		内訳	【西脇市】人件費ほか 【多可町】人件費ほか				
R5年度	取組計画	【西脇市・多可町】専門的知識を有する消費生活相談員を配置し、両市町で実施している消費生活・多重債務相談について、相談窓口の相互利用をすることで役所の全営業日（相談員出勤日：西脇市３日/週、多可町２日/週）に相談窓口を開設するとともに、相談事例の情報共有を図る。					
	事業費（千円）	西脇市	2,739	多可町	2,108	合計	4,847
		内訳	【西脇市】人件費ほか 【多可町】人件費ほか				

成果指標（KPI）①										
指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位	
消費生活・多重債務相談窓口の相互利用可能日数	目標		―	240	240	240	240	240	日	
	実績	240	243	242	243					
	達成率			101%	101%					
	評価		―	A	A					
指標結果の分析・評価	R4年度	西脇市（月・水・木相談窓口）、多可町（火・金相談業務）との連携により目標を達成								

事業内容			
分野	結びつきやネットワークの強化		
政策	その他	施策	住民相談窓口の相互利用
事業概要	女性の就労支援や子育てに係る相談など、中心市で開設する相談窓口の対象を関係自治体住民に拡大し、多様な相談窓口の確保と相談機会の充実を図ります。		
事業効果	圏域で多様な相談窓口が確保され、相談機会の充実が図られることにより、圏域住民の不安の解消や支援につながります。		
事業	**35 住民相談窓口の広域利用の推進**	掲載ページ	103ページ

担当			
西脇市	茜が丘複合施設／こども政策課	多可町	こども未来課

事業計画・取組状況							
R4年度	取組実績	【西脇市】西脇市茜が丘複合施設Miraieにおいて、女性の就労起業支援や子育てに関する個別相談を実施した。市民に対し、相談窓口の利用について広報紙やチラシ、ホームページ、SNS等で啓発した。（相談件数：仕事相談23、就労相談7、起業相談17、悩み相談2、子育て相談140、計189） 【多可町】こども未来課と生涯学習課が共同で、女性の起業セミナー及び就労に関する個別相談、子育てに関する個別相談を行った。会場は全て、子育てふれあいセンターにて実施した。町民に対し、広報紙やチラシ、ホームページ等でセミナーや相談についての情報発信を行った。(相談件数：就労相談2、女性の起業セミナー4、子育て相談111、計117) 【西脇市・多可町】各々の自治体の住民に対し、相談窓口の利用について広報紙やチラシ、ホームページやSNSにおいても情報発信した。					
	進捗状況	C：不十分であるが一部において成果が得られた					
	取組の評価	【西脇市】新型コロナウイルス感染症による休館もなく、利用制限の緩和により利用者が増え、それに伴い子育て相談の件数は大幅に増加した。 【多可町】子育てに関する個別相談件数は、西脇市と同じ理由で昨年度より大幅に増加した。女性の起業セミナーと就労に関する個別相談件数は、昨年度と同程度だった。 【西脇市・多可町】就労相談等には、西脇市の相談窓口に多可町在住の方の相談利用もあり、相互啓発の効果がみられた。					
	事業費（千円）	西脇市	1,065	多可町	0	合計	1,065
		内訳	【西脇市】就労起業支援相談業務等(社労士等)報償費420千円、こどもプラザ事業プレイサポーター(臨床心理士)報償費645千円 【多可町】女性の起業セミナー及び就労に関する個別相談に関する事業は県の派遣事業であるため、全て県負担。				
R5年度	取組計画	【西脇市】西脇市茜が丘複合施設Miraieにおいて、女性の就労起業支援や子育てに関する個別相談を実施する。市民に対し、相談窓口の利用について広報紙やチラシ、ホームページ、ＳＮＳ等で啓発する。 【多可町】こども未来課と生涯学習課が共同で、女性の起業セミナー及び就労に関する個別相談、子育てに関する個別相談を行う。会場は全て、子育てふれあいセンターにて実施する。町民に対し、相談窓口やセミナーの利用について、広報紙やチラシ、ホームページ、SNS等で啓発する。 【西脇市・多可町】各々の自治体の住民に対し、相談窓口の利用について、広報紙やチラシ、ホームページやSNSにおいても情報発信する。					
	事業費（千円）	西脇市	990	多可町	0	合計	990
		内訳	【西脇市】就労起業支援相談業務等(社労士等)報償費270千円、こどもプラザ事業プレイサポーター(臨床心理士)報償費720千円 【多可町】女性の起業セミナー及び就労に関する個別相談に関する事業は県の派遣事業であるため、全て県負担。				

成果指標（KPI）①

指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
対象相談窓口利用者数	目標		—	362	364	366	368	370	人
	実績	400	—	158	306				
	達成率			44%	84%				
	評価		—	D	C				
指標結果の分析・評価	R4年度	西脇市では、新規に女性を対象とした起業相談窓口を設けたが、予定枠はほぼ埋まり、必要性が改めて認識できた。両市町ともに、子育て相談については、前年度に比べ大幅に増加した。施設の利用制限緩和に伴う利用者の増加が影響していると考えられる。また、多可町の女性の起業セミナー及び就労相談件数は、昨年度と同程度であり、一定数のニーズがあることがうかがえる。							

事業内容					
分野	圏域マネジメント能力の強化				
政策	人材の育成及び確保		施策	人材の育成及び確保	
事業概要	圏域自治体職員の職務遂行能力向上のため、合同研修会を実施します。また、圏域の政策課題への対応のため、専門的知識を有する人材の活用・育成や、両市町が相互補完できる分野での職員の人事交流について検討を行います。				
事業効果	圏域の自立と持続可能な成長を牽引する人材を育成・確保することで、圏域の政策課題について円滑な解決を図ることができます。				
事業	**36 職員人材育成・確保事業**			掲載ページ	105ページ

担当			
西脇市	総務課	多可町	総務課

事業計画・取組状況							
R4年度	取組実績	【西脇市・多可町】両市町職員が参加する合同研修会（スキルアップ研修）を実施する。また、人事交流等の研究、先進地事例調査などを行った。					
	進捗状況	B：おおむね想定どおり（８割以上）の成果が得られた					
	取組の評価	合同研修会を2/14にロジカルシンキング研修（参加者20名）、2/15に議会答弁研修（参加者25名）を実施した。職員それぞれの能力向上に加え、市町職員間の意見交換の場になっている。また、両市町の研修担当者で、今後の取組について検討した。					
	事業費（千円）	西脇市	205	多可町	103	合計	308
		内訳	研修委託料を参加人数で案分する。				
R5年度	取組計画	【西脇市・多可町】両市町職員が参加する合同研修会（スキルアップ研修）を実施する。また、人事交流等の研究、先進地事例調査などを行う。					
	事業費（千円）	西脇市	338	多可町	102	合計	440
		内訳	研修委託料を参加人数で案分する。				

成果指標（KPI）①										
指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位	
合同研修参加者数	目標		—	90	90	90	90	90	人	
	実績	75	68	68	45					
	達成率			76%	50%					
	評価		—	C	D					
指標結果の分析・評価	R4年度	今後も、職員のニーズに答える研修を計画していく必要がある。								